

理科 小学校 第5学年

出題の意図及び正答率(小5)

- 評価の観点等
- 1 科学的な思考
 - 2 観察・実験の技能・表現
 - 3 自然事象についての知識・理解

領域	問題番号			出題のねらい	評価の観点等			正答率
	大問	小問	通番		1	2	3	
A 生物とその環境	1	1	1	実験の準備から、どんな発芽の条件を調べるのかが分かる。	○			71.2
		2	2	水が発芽の条件かを調べるための実験を考えることができる。		○		67.2
		3	3	日光は、植物の発芽に必要な条件ではないことが分かっている。			○	50.0
	2	1	4	発芽後のマメの姿の変化や各部分の働きが分かっている。			○	77.9
		2	5				○	92.8
		3	6	マメの各部分の働きを確かめる実験方法を考えることができる。		○		37.4
	3	1	7	受粉した後のヘチマのめしべの変化が分かっている。			○	91.5
		2	8	ヘチマが実をつけるには、受粉が必要であることを考えることができる。	○			77.2
		3(1)	9	顕微鏡の正しい使い方を身に付けている。		○		89.9
		3(2)	10			○		20.7
	4	1	11	メダカの卵の様子の変化が分かっている。			○	79.4
		2	12	卵が育っていることを証拠をはっきりさせて説明できる。	○			62.3
		3	13	メダカのオスとメスの体の特徴が分かっている。			○	77.5
		1	11	お母さんのおなかの中の赤ちゃんの様子の変化が分かっている。			○	79.4
		2	12	赤ちゃんが育っていることを証拠をはっきりさせて説明できる。	○			62.3
3		13	赤ちゃんはへそのおから栄養をもらっていることが分かっている。			○	77.5	
B 物質とエネルギー	5	1	てこにおいて、力の3点の位置関係と手ごたえの違いを関係付けて考えることができる。	○			76.1	
		2		15	○			76.6
	3	16	力の3点の位置と力の大きさの関係が分かっている。			○	62.7	
	4	17	てこのつり合いの条件を使って、つり下げる位置とおもりの重さを考えたり、「くぎぬき」にあてはめて考えたりすることができる。	○			78.4	
	5	18		○			88.7	
C 地球と宇宙	6	1	気温を測るための正しい方法を身に付けている。		○		74.3	
		2		20		○		85.7
		3	21	気温の測定結果をグラフに表すことができる。		○		76.6
	4	22	気温変化のグラフをもとにして、天気の変化の様子を考えることができる。	○			86.2	
		23		○			67.7	
	7	1	24	川の水の流れとその働きについて分かっている。			○	75.9
			25				○	52.7
		2	26	川の場所による水の流れる速さの違いを調べる実験方法を考えることができる。		○		54.8
		3	27	水の量や流れる速さによって土地が変化することを関係付けて考えることができる。	○			63.7
		4	28		○			65.0